

花壇づくりワークショップ ニュースレター

Vol. **04**
平成31年2月27号

日時：平成31年2月27日（水）
9：00～11：00
場所：馬見丘陵公園
ボランティアハウス
参加者：24人

9：00～9：20 全体説明
9：20～10：10 デザイン演習（グループ作業）
10：10～10：20 休憩
10：20～11：00 ハンギングバスケット作成



▲2/27 時点の花サポーター花壇

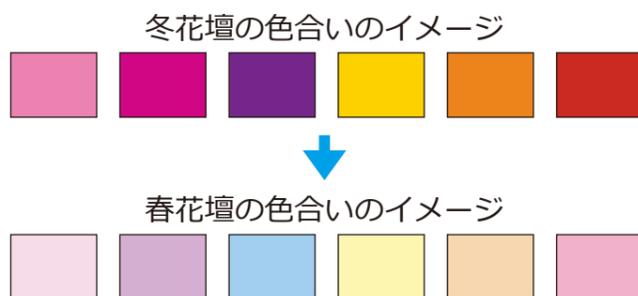


春のボーダー花壇デザイン

春のチューリップフェアに向けて、ボーダー花壇のデザインを行いました。花壇のテーマは、春うらら、暖かい花壇に蝶々も人も集まる、陽だまり花壇という提案を花サポーターさんから頂き、「春うらら。陽だまり花壇」としました。

花壇全体の色合いは、冬花壇を引き継いでグラデーションをベースとし、色合いは淡いパステル系に変化させることを基本としました。また、冬花壇で植えた植物で、球根や使えるものは残し、枯れたものやかなり傷んだもの、チューリップフェアの期間まで持たないもの、暗い色のものを中心に撤去することにしました。

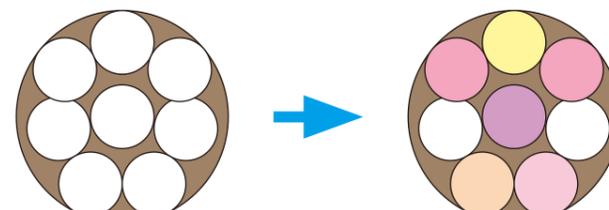
1回目のワークショップと同様にグループに分かれて、縮小した花壇図面の上に花のカードを並べて花壇全体のデザインを行いました。



ハンギングバスケットの作成

今年度から新たに挑戦したハンギングバスケットについて、こちらもチューリップフェアに向けて植え替えを行いました。

現況のハンギングバスケットにはパンジーが既に植えてあるため、この一部を生かしながらデザインを行いました。各ハンギング台ごとにテーマカラーを決め、例えばテーマカラーをピンクとするハンギングバスケットには、既存の白パンジーを残し、タツタナデシコやリナリアなどピンク色の苗を新たに植え足しました。



パンジー白1色のハンギングバスケット

白いパンジーを2株残し、ピンク色の苗を植え足してテーマカラーを表現





花壇デザインの色について

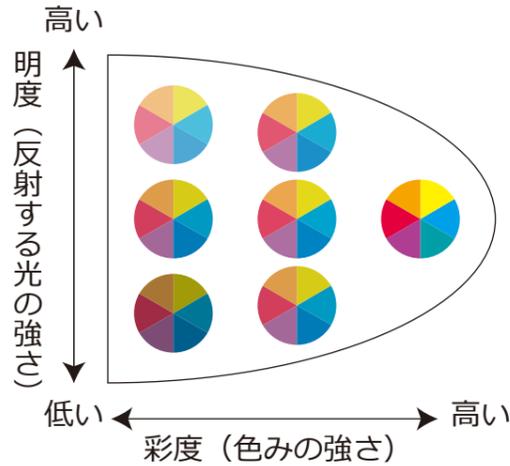
色は「色相」「彩度」「明度」と呼ばれる3つの属性を持っています。色相とは「赤」「黄」「青」のような色の相違を言います。右図はマンセル色相環と言います。色相を環状に並べたもので、隣り合う色を順に追っていくとグラデーションになっています。また、色相環図で正反対に位置する関係の色の組合せのことを「補色」と言い、例えば黄と紫など、お互いを強調させる関係があります。

彩度とは、色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど目を惹く効果があります。

明度とは色の明るさの度合いです。明度が高いと明るくやわらかな印象になります。花サポーター花壇は色相でグラデーションを表現していますが、明暗でグラデーションを作るとまとめやすいです。



▲明暗のグラデーション



色の組み合わせに迷った時は以下の法則を考えてみてください。パステルカラーを中心としてポイントに濃い色の植物を使用すると、花壇全体にメリハリをつけやすいです。

①色の濃淡の組合せ (例: 白、桃、赤)



色のつながりが自然で失敗が少なく、比較的簡単な組み合わせです。

②色相環で隣り合った2~3色の組合せ (例: 赤、オレンジ、黄)



主に赤系で暖かいイメージ、青系で涼しいイメージが作れます。

③色相環で補色関係の組合せ (例: 紫、黄)



お互いの色を強調しあう、コントラストの強い個性的な色合わせです。色の配分量にメリハリをつけたり同じ色の花を固めて配置するとまとめやすいです。

④色相環で三角形を作る位置3色の組合せ (例: 赤、青、黄)



3色を均等に使わず、いずれか1色は少量でスパイスのように利かせるとバランスがよくなります。3色を均等に使用したい場合は、色調の明るいピンク+白色+薄黄色などにするとまとめやすいです。



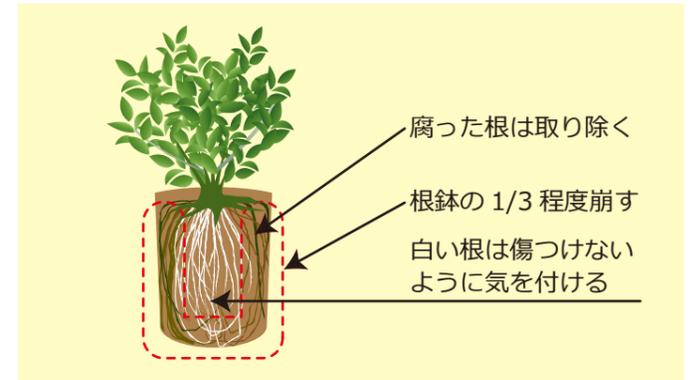
質問コーナー

Q. 植え替えて苗の根を崩す際、どれくらい崩せばいいの？

根の崩し方に加えて、ここでは鉢植えの植え替え方法を紹介します。植物によって、植え替えの適期が違ったり、直根性など植え替えを嫌う植物もあるので気をつけましょう。

①古い土や根の除去

植え替える苗を鉢から抜き、根鉢の下と横の古い土を崩しながら1/3程度落とします。また、根が黒くなってしまっている部分は腐っているので取り除きましょう。白い根が生きているので傷つけないように気をつけましょう。

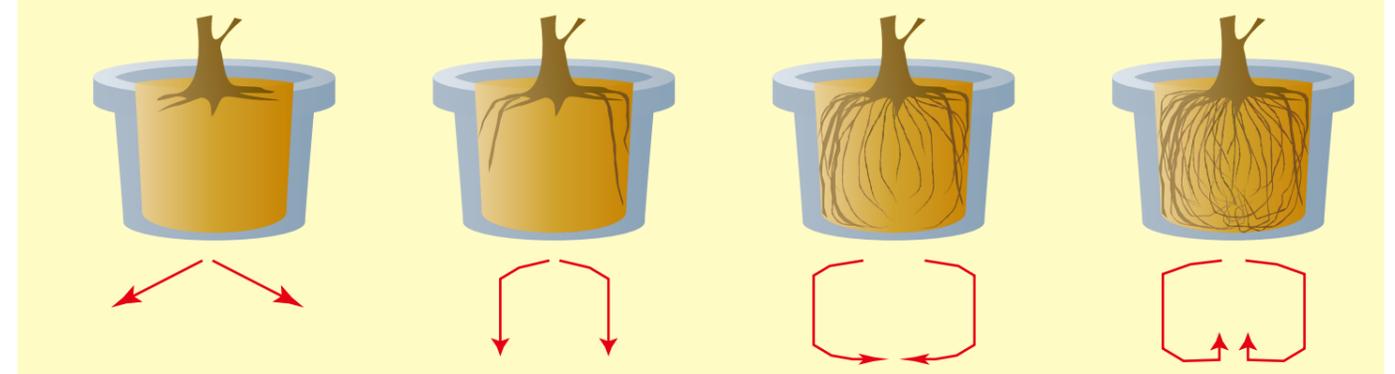


②植え付け

植え付ける鉢は、元の鉢よりも1~2号大きいものを用意します。植え替えのたびに1号ずつ鉢を大きくしていくのが理想です。根は鉢の壁面に当たるとそれに沿って伸びるので、いきなり大きな鉢に植え替えると根が鉢の壁面ばかりに密集して内部がスカスカになり、肥料の吸収が悪くなるので避けましょう。同じ大きさの鉢に植えたい場合は、①の作業で根鉢をやや大きめに崩しましょう。

植え替える鉢には底から1/3程度の量の用土を入れ、鉢の中央に苗を置きます。この際、ウォータースペースが取れるように用土の量を調整しましょう。苗の高さが調整出来たら、割り箸などを使って周りから用土を足し入れます。

鉢の中の根の張り方



③水やり

鉢底から水が出るまでたっぷりと水をやります。根鉢を崩した苗は水を十分に吸い上げることが出来ないため、萎れやすいです。植え替え直後は明るい日陰で風の当たらない場所に置きましょう。

Point!

鉢が割れた等で植え替え適期以外に植え替え作業を行う場合は、根鉢を崩さずにそのまま植え付けましょう。